

Nº848 BASTOS, 5 de AGOSTO de 1966 O PROGRESSISTA . REG. N. 4.576 SMO PAULO A.

バストス週報

第八四八号
昭和四十一年
八月五日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REGATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
FONE 40
BASTOS

C. P
CR#
4.000-
ANUAL:-

青嵐 28 29

真木さんの奮闘記

世にはずいぶん色々な会があり団体があつて、それぞれ本来の目的に向つて邁進しているが、その会なり団体の世話をする人、つまり役員の方力いかんによつて会の消長を左右するものであるは言を俟たない。

バストスに於ける日本語学校もその例外ではあり得ない。

日本語を子弟に教えておきたいという要望は父兄の一人々々にあるのだが色々な事情や支障で徹底しにくいものである。二年前バストスの文協が日本語校開設にふみ切つて下さつたが、実際問題として日本語普及にのみ全力が挙げがたい。文協の立場にあつては日本語校開設をしたものの、文協役員外の熱心な推進者の支持を得ない限り、経営も前進も困難であつたにちがいない。

そこで文協の準役員という形で吉浦秀次郎氏が日本語普及会の会長に推され、教人のアシウラダシテと共に最初の一年を経営に当られたが、氏の性格と努力によつて先ず予想以上の実績を上げた。

吉浦氏は毎週の如く役員会を開き創立後まのまない日本語校の運営に寢食を忘れて奔走された。

何しろ教育事業にはずぶの素人ばかりの集りだから、熱意があつても熱意ばかりでは通用しない問題が次々と起つてくるのである。

校舎の問題、教材（机、椅子など）の問題、その他色々あるが一番頭をこの二つである。全々資金も基金もなしに着手した仕事なので行き詰りは最初から判つていた。

吉浦会長は副の吉田さんや榎原氏と共に戸別訪問をして賛助会員をつくり教材費を集めた。

教室は中央会館をあてにしてはいたが、使用できぬことになつたので橋本氏の好意で、橋本寮をかりて、現在の病院内裏の休閑建物を文協から借りて使用する。こととなり、既に一年余を経過した。

吉浦会長は一年半という約束を楯に遂に辞職された。

氏には会館建設資金募集という大仕事がか控えているので両免を賭けるわけにいかず、遂に本年一月下旬会長を辞任され

HOTEL USSAMI

宴会の仕出しに

御会食に

和洋御料理

バストス名物

鯉料理



お食事とお泊りは

うさぎ

電話 二二

Sapataria Bastos

紳士淑女の身だしなみは靴が一番です

どなたもお気に召す靴はハマカワへ

早川靴店



た、おしい方だと思つた。おしひ方が事情が許さなかつた。

後任は御存じ通り小澤会長、真木、長副会長のバツテリである。

この頃になると、日本語校も一応形だけ整つて来たので、吉浦会長時代のように役員の方集もそれほど頻繁でなくなり、経営の方もどうやら目鼻がついたよう

に見たのであるが、実際問題として、は經濟的には或る別な危期が身近に迫つて来たのである。

これに着眼したのが老練真木氏である。日語に訪れた危期というの外ならぬ生徒の激減という伏兵であつた。

文協の本田副会長が「日語教育は父兄各自の責任であるべきで、自分の子供を教育する費用は父兄各自が負担すべきだ」という正論を吐露したことがある。

すると生徒が激減することによつて、生ずる經濟面の力不足は、残りの生徒の父兄がしなければならぬといふことになる。

判りやすく月謝で例を引くと生徒百人の場合、一月の月謝が二コソトとすれば、生徒半減の場合には四コソトとすればならぬことになる。このコソトロルをい限り熱血的な父兄四五人は、經濟面の負担を全面的にかぶる覚悟がある。

この努力は、そうい時控揮されるべきで、家庭教師でない限り、仲介人たる必要が生じてくるのである。

真木氏はこれまで誰もがやらなかつた父兄の戸別訪問をやり、中途でやめた生徒の家を訪問して、父兄にその理由を聞き、日語教育の重大性を辯じて登校をうながした。

父兄というものは各自中大いに日語に共鳴しながら實際には、仕事に追われ、子弟の日語勉強には、おろそかになりがちなものである。

これを本田氏の正論に随えば、生徒の激減などにぶつかると思つて減すべき運命にある。

教育は国民乃至民族共同の責任事業である、という言葉がはじめて登場し、父兄の個々の力を以てしては、よくなし得ない教育の共同紐帯の原理が実を結ぶべきである。

このころはブラジル語が第一であるから、ポロの方では当局の方針に従い、日語の方は民族的要望であるから、どうしても吾々コソニアの力を動員するしか方法がない。

このころの道理はよくわかつていたから、中々力を入れにくいのは、要するに挺身して問題解決に當らうという人が少ない、否、ないといつてよい位の現状だからである。

こういふ危期に當つて真木さんが進んで生徒獲得運動に挺身して下さつたといふことは、何という尊い献身であるうか。

いふべくして実行しがたい事はせの中、沢山ある。父兄の家を訪問して堂々前向き姿勢でこれをよく爲し得る人が、

真木さん以外にあるだろうか。いろいろ尊敬すべき仕事は世の中に沢山あるが、これほど頭の下の仕事も少ないであらう。

あえて世の父兄の共鳴賛助あらんことを希うや切なるものがある。

第二学期がケルツポ、その他中学校もアウラが始まり、またそのため、日本語の勉強をすぐやめるようでは折角、これまでの努力がフイになります。

一日一時間くらいの日語の勉強を怠るようではなりません、父兄の方も大いにこの際力を入れて下さい。

寄稿

二世に取つても必要な日本語

あめんほう

入植祭も終り何となく静かな気持ちになりました。そんな静かさの中で一人ポツンと机に向い本棚の本に目をやると、日本語という言葉が私の目の前に飛びこんで来ました。

近頃になつて私は、日本語と云うものが、どれ程私達二世の間で必要なものかわかつて来たのです。それで皆さんには、ここはブラジルだから日本語の必要はないのだ、などと思わぬようになつて頂きたく、早速ペンを走らせている私なのです。

私もごらんを通り日本語はほとんどわかりませんが、でも昔から教育については、厳しい父母の躰に私は一字一言日本語を習つたものであります。

今になつて見れば、どうしても早くから一生懸命勉強しなかつたのだらうかと後悔して居り、又これから頑張つて、正しい日本語で話せる様にならうと努力したいと思ひます。

日本人の顔をしているのに、日本語がせんせんわからないなんて、まったく情ないことと云ふとある老人が話しているのを聞いた時、私は胸をうたれました。

「あ、やっぱりこの老人達には自分の生れ故郷が懐しくあり、又私達二世がベラベラとブラジル語ばかりで話の聞くと何んとなく淋しい気持ちになるのではないだろうかと思ひます。たしかにそうなので、ブラジル語は私達にとっては一番大事な言葉です。でもブラジル語と日本語がわかつたら、もうともっと素晴らしいではありませんか。日本語を勉強している間は、日語は無理だなどと思わず、一日一言でも一字でも覚え様と努力しましょう。父母達を喜ばし、この誰から話かけられても返事に困らぬ様に、日本語も日語も二世に負けぬ様に頑張りましょう。」

終

花の御礼

バストス婦人會

私達去る七月十六、七日の入
植祭演藝会に出演致しまし
た処左記の方々より過分な
る御花を頂戴致しました
紙上を以て御芳名を發表致
し厚く御礼申上ます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------|--------|---------|----------|--------|---------|--------|-------|--------|----------|----------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|------|--------|---------|---------|---------|------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|------|---------|---------|--------|---------|---------|------|------|--------|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|------|---------|
| 奥田 たみ子様 | 重道子代子様 | 古田 道助様 | 早川 靴店様 | 野村 喜一様 | 丸山 敦様 | 竹内 イク様 | 古川 様 | 森越 商店様 | 山根 サナエ様 | 大西 石碑工場様 | 落亀 作市様 | 友谷 キク子様 | 山本 勇夫様 | 漢 砂子様 | 畑中 志中様 | 八重程 家具店様 | 小茂田 呉服店様 | 武田 オマジ様 | 小池 花代様 | 栖原 信子様 | 古沢 市次様 | 小茂田 春枝様 | 篠崎 才八郎様 | 田中 サトノ様 | 山根 三郎様 | 森川 様 | 河西 静夫様 | 阪東 キタノ様 | 織田 週報社様 | フオト 島本様 | 奥田 様 | 及川 富美様 | 森 重商店様 | 小松 美代子様 | 小澤 養鶏場様 | 福森 ユイ様 | 松森 キク様 | 清 金太郎様 | 池戸 様 | 原野 こぶゆ様 | 中原 菓子店様 | 生方 正義様 | 新谷 ちちえ様 | 本田 たね子様 | 豊島 様 | 岡田 様 | 水野 幸作様 | 志牟田 由松様 | 西谷 様 | 工藤 時枝様 | 武田 栄吉様 | 谷田 千代様 | 能見 利八様 | 坂口 義一様 | 佐藤 すきの様 | 宮崎 真館様 | 梶田 商店様 | 藤川 様 | 加藤 英太郎様 |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------|--------|---------|----------|--------|---------|--------|-------|--------|----------|----------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|------|--------|---------|---------|---------|------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|------|---------|---------|--------|---------|---------|------|------|--------|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|------|---------|

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|------|----------|--------|--------|------|-------|-------|----------|--------|--------|-------|--------|
| 水本 彰様 | 柴田 タカミ様 | キタノ 古川様 | 三鼓 マスコ様 | 板垣 寿勢雄様 | バル 柳浦様 | 井上 マイ子様 | 島本 サノ様 | 仙教 婦人会様 | 梶山 米子様 | 橋本 マイ様 | 篠崎 長五郎様 | 伊藤 時子様 | 上田 様 | 東 絹子様 | 戸来 キク様 | サ、千葉局様 | パール 水口様 | 関口 ウメ様 | 川上 さち子様 | 浅原 様 | ホテル 宇佐見様 | 伊藤 妙子様 | 前山 商店様 | 前田 様 | 橋本 家様 | 谷口 章様 | 太郎 田みどり様 | 天野 文子様 | 石橋 長見様 | 野田 哲様 | 上原 一臣様 |
|-------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|------|----------|--------|--------|------|-------|-------|----------|--------|--------|-------|--------|

御礼

ア、スルターナ商會の高木幸雄様より
今年も多量のお菓子をお寄贈下さ
りました 厚く御礼申上ます
バストス婦人會一同

急募

事務員

○ 高商卒 優先す
在学中の方でもよい

○ タイプライターできること
○ 徴兵のすんでいること

八月十三日 テストいたしますから
希望者は御いで下さい

南米銀行

船 辺

花の御礼追加

石橋 敏子様 橋元 さいより御礼
前号の分にお名前がぬけてい
ました 週報社の手落ちと思
います 編集部

御礼

去る七月十六七日の両日にわたって
行われましした入植祭演芸会の当日左
記の方々より勸進元に御花をいただ
きました
此の御花は祭典特別会計に繰入れ祭
費に当てます 紙上を以て御芳名を
発表し厚く御礼申し上げます

- | | |
|-----------|----------|
| 農田 哲 様 | 信田 尖治 様 |
| 落筆 作市 様 | 佐々木 久輔 様 |
| 山根 早苗 様 | 吉浦 秀次郎 様 |
| 西川 誠一 様 | 山中 三郎 様 |
| 浦 憲太郎 様 | 栖原 義一 様 |
| 青木 留雄 様 | 豊島 喜一 様 |
| 川野 清 様 | 小林 小久 様 |
| 小田 順介 様 | 河西 静男 様 |
| 草原 秀雄 様 | 古沢 市次 様 |
| 盛合 様 | 能見 利八 様 |
| 大西 石碑工場 様 | 藤本 栄一 様 |
| 友谷 牛丸 様 | 西ヶ迫 信秀 様 |
| 久保 田トキ 様 | 生方 正義 様 |
| 小澤 様 | 木口 正功 様 |
| 竹花 富行 様 | 梶田 商店 様 |
| 羽藤 総 様 | 若野 耕一 様 |
| 島本 公 様 | 星島 キスエ 様 |
| 佐古 博 様 | 古田 道助 様 |
| 森川 ホテル 様 | 水本 彰 様 |
| 松村 市助 様 | 大倉 重一 様 |
| 森元 武男 様 | 志牟田 由松 様 |
| 島原 様 | |

御花計
百八十五コントス也
バストス開植三十八周年演芸会
勸進元

御案内

拝啓愈々待望の真宗大谷派東本願寺
御法主光暢台下並に御衰方様には、
来る八月十九日午前十時バストスに
御着なされませす
今次御渡伯の目的は日伯親善と同胞
への御慰問にある事はもとより、
一には各地へ御巡化なられて親しく
御門未に接し本願の大悲をより明ら
かにお示し下さる御趣旨と拝察致し
ます 当寺では此の機会に延修中の
開山聖人七百回大遠忌法要
特別バストス開拓先亡者追悼法要を
御真修いただきます
御親教 帰敬式 (オカミソリ)
外
随行長 随員 新本部長の御法話も
聴聞出来ませすから、どうぞお誘い合
せ御参詣下さるよう御案内いたします
一九六六年七月十五日
各位 バストス南米木願寺 合掌

Vende se Casa
売家
場所 ルアセツテデセテンフロ
広サ 四十米突 × 十五米
住宅 九米突 × 二十米突に建
ガラシ 一棟
矢島金吾 所有

希望の方は佐野万太郎様方まで
お出で下さい

御礼
金一封也
故真理男(まこと)御死去に際し香奠返し
として御寄贈下さいました厚く御礼申上
ります
シヤーカーラ区 (会計)
清 六男 様

花 御礼追加
農田 哲 様 バストス仏教婦人会より
農田 哲 様 本願寺バストス日曜
学校生徒より御礼

88

88

88

88

○生長の家 副理事長 本部講師

医学博士

徳久克巳先生大講演会

○繁栄の原理 ○家庭調和の道

○無限健康の道 ○愛とは？

○子供の教育 ○祈りと は！！

○日時 八月十四日 二十時

○会場 バストス 生長の家会館

生長の家 バストス 誌友相愛会

トッパン 誌友会館にて八月十一日 同先生の大講演会があります
同日十八時半バストス会館前より車が出ますから希望者はおいで下さい

訪日見聞録

九州 観光

唐津市見物

小澤 勇

唐津市は河川の町か森の町か、玄海灘に面した、静かに落付いた町である。西唐津駅から車は鏡山に向う、全長五百米の松浦橋を渡ると舞鶴公園あり、旧城跡であり、目下昔のまゝの五重天主閣の築建中である。

浪は松原に沿って真白き一線を引き、次に松原の翠色、次に松原に沿って建てられた民家の一線とくつきり判る色採は大玄海の紺碧に包まれ調和して大自然の織りなす美観に唯感嘆久しうして時の過るを知らず。

町を東に出ればと、音に名高い日本一の由比の松原（一名紅の松原ともいふ）である。松原は海岸沿い巾六百米長さ八軒ある、老松の密林で此の松を保護するため家の新建築は禁ぜられていて、とか、アスファルトの大道路、松が枝さし交う中のドライブは言語に絶した楽しさである。

か、領布振らしけむ松浦佐用姫と大書してあり、又其の板書の銘には、領布振の松伝説、鏡山には宣化天皇七年（五三七）松浦の里篠原村の長者の娘佐用姫が朝鮮に舟出する大伴狭手彦に領布を振って別を惜み、遂に石になつたと云う悲恋物語が秘められいる。と書かれていた。

松原の中程と思われる所を右折すると村落にか松原に沿ってあり次に田園に出る。田園は真黄色な菜の花が満開の連続で、美しは言わん方なし。間もなく車は曲折の極めて多い峻険な道路を鏡山に登る。道の辺に山桜多く美しく、車を止め、シッターを切ることも数度、山頂に車を止めて海の方を見る。お、何と云う絶景であろう、玄海の荒

川、延々六、吉の白砂青松虹の松原と東の浜海水浴場、野の色、山の色、唐津の徴である。玄海の波の色、まさに唐津の徴である。車は町の反対側を突走り、遠く呼子町に着く。町は大小の魚船が多数集った魚港である。車を持たせ七つ釜行ききの便船に乗らうとしたが、定期船の出発迄には大分時間がある故、発動機船を雇う、往復千円で

約定した処便乗者多く一人百円で行けたのは有難かつた。七ツ釜は唐津から車で三十分の所、岬の更端だが海上からの眺でないと思ふ。玄海灘の波涛は、玄武岩の断崖に打ち碎き無意味な七ツの大洞窟をうがつたもので、其の周辺は典型的の玄武岩層で或は横に、或は縦に種々様々な奇々怪々様相を創り、見る者をして嘆声を発せしむ。

宿は城内閣と云い旧城内にあり、正門から玄関迄は実に立派な庭園があり、意外に立派な室に通され、新鮮豊かな魚類の御馳走に舌鼓を打つ。

三月廿四日、松浦半島を横断して長崎市に向つて汽車は南進する。松浦炭田に行くと右や左の山腹、平野に茂る炭坑が散見するも斜陽産業の悲しさは、休坑が多いように見受けられた。

肥前吉中駅に着く間の農山村の姿は昔のままと云うか何となく新風を欠き訪日以來初めて昔なつかしい牛耕を見る。これまで見たのは耕転機による耕作のみであつたのに、これら炭山や、山間を通過した日にはアイの浦の海波と湾内炭多の島々は閑然として山水の美を展開してくれ、汽車は大村湾岸を進みに進む桜の並木、枇杷の畑は満開で、赤レンゲ畑や黄色の菜の花は麦畑の青と織りなす綾錦は春ならでは見られぬ色彩の妙は遙かに開けた碧海と調和して厭きることはない。パノラマの変化、加うるに長汀曲浦の美観を以てす。

春風静かに車窓を打ち数塊の浮雲影を碧海に落す、嗚呼。

長崎市見物

長崎市宿居旅館に着いたのは午後四時頃であつた。

天文二年(一五四二)に始めてホルトガル人が日本に来て以来つぎつぎと高船や宣教師が来日した。当時の貿易港鹿児島や平戸島などがキリスト教を禁じたので、高船は長崎港を根拠とするようになった。島原の乱後の鎖国令で長崎だけ中国とオランダに対して門戸を開き我國唯一の開港場であり中国や西政の文化の取り入れ口であり出島に残るオランダ屋敷跡は当時の高館で幕府にとつても高館にとつても双方に利益が大きかつたので、三百年も貿易は続いたのである。

昭和二十年八月九日午前十一時二分投下された原爆は浦上工場街を初め市街の大半を壊壊と化した。二十一年後の今日は大産を壊壊と化した。二十一年後の今日は大産を壊壊と化した。二十一年後の今日は大産を壊壊と化した。

を飾り食指大いに動く。二十五日、タクシーは宿に來て長崎親光の案内を約し、ガイド嬢を連行の予定であつたが人不足で来られなかつたから僕が御説明申し上げますと運チマンの辨。昔の面影を今も残す長崎の町は石畳の坂道が多く、特にオランダ坂は日本最初の石畳であり、其の著名なものである。旧外人居留地の昔のままの姿とマダレている。其の近くの急な坂道の上に大浦天主堂がある。

これは我國最初のキリシタン殉教者の聖を祀るため元治元年(一八六四)フランスの宣教師フェレール氏建てた洋風の建物で、日本最古の天主堂として国宝となつてい

其の近くのミッシェン、スクールは、屋敷が十字形に造られていてるので知られていて、この天主堂から海の方を見渡すと有名な長崎港も狭く感ぜられ、対岸の三菱造船所の岸壁近く十五万坪のタンカーが浮き、今又、二十一万坪のタンカーを建造中とか、さすがは長崎なるかと思ふ

以下次号へ続く

花の御礼

グロリマ工区男女青年団私達祭典演芸会に出演して左記の方方から多大なる御花を頂きました厚く御礼申し上げます

男子部

早川靴店様
パール柳浦様
今野林次郎様
桑原久治郎様
矢野武信様
梶田商店様
前山商店様
木原忠一様
ファルツラ青年団様
志年田由松様

女子部

丸山敦様
オト島本様
梶田商店様
今野林次郎様
宮崎真真館様

花の御礼

- フット 島本様
岡田 様
水野孝作様
水本 彰様
坂口 義一様
小澤養鶏場様
山根三郎様
森重商店様
宮崎真真館様
若野耕一様
阪東キタダ様
板垣寿勢雄様
守越商店様
中原菓子店様
栖原 清様
大谷 清様
比良朝彦様
ツバシ 古川様
加藤マサ子様
小茂田吳服店様
丸山 敦様
- 男子部
- 早川靴店様
パール柳浦様
今野林次郎様
桑原久治郎様
矢野武信様
梶田商店様
前山商店様
木原忠一様
ファルツラ青年団様
志年田由松様
- 女子部
- 丸山敦様
オト島本様
梶田商店様
今野林次郎様
宮崎真真館様
- G-I男女青年団より御礼

Tempero de Alta Qualidade 999%

Glutamato de monosodio 999%

SUPERAGI

聖市ルアカルボンブエーノ 二一二番七階

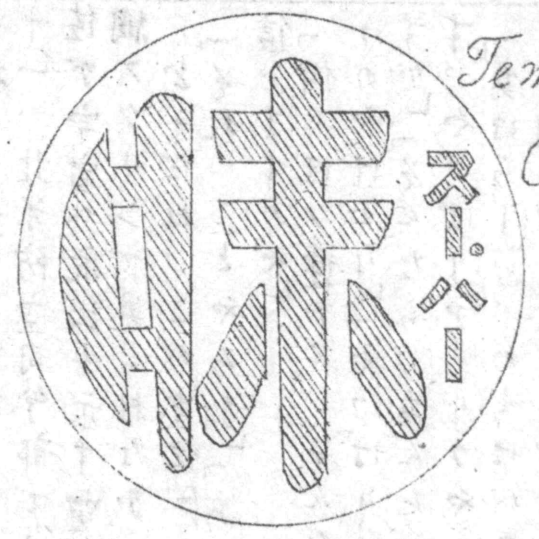
遠藤貿易株式会社

スパイ味

たべもの屋めぐり

京風かやくごはん
東京渋谷「かんだろう」

京都出身の店だから万事京風。龜山(中であかさ)百円、ぶぶ漬け(お茶すり)のり巻百五十円、さけ茶二百円あり。名物かやくごはん(タケノコ、ニンジン)の炊きこみごはん。シミタケ、キノサヤのり、紅シロ、錦糸たまごカツツツのせてある。みそ汁香の物。かっいて二百五十円。



味噌汁は一旦漉してスパ味で味付
しますと二世の若い人からも
喜ばれる秘訣です
食卓には必ずスパ味を
おすすれなく
スパ味はどこの店にも
ありません



ソ連の宇宙遊泳はウソ 勝甫

「やあ、二三日見んかったがどうした
ね、風邪でも引いて寝ていたのと違いま
すか、いや、パラナの方へちよ、とい
て来ましてね、その又怪しいことやな
、どうやら、あっちの景況は、あかん、金
詰りで、どいつもこいつも不景気面しと
ろわ。レストランテで飯喰うとつたら、
隣席のパラナ人が、バスターの入植祭は
賑わいましたかと訊きおつた。「ん、で
どう返事しましたか」と「演芸会の見物人が約
三万人位居た、と云うたらビョクリして
腰抜かしおつた」と「それまた、えらい法螺
吹いたもんや」と「あたりまえや、とかく宣
位の時代や、宣位に敷けたらあさまへん
ぜ、こう見えても、わしもバスター人や
バスターの土になる覚悟やからバスター
は古郷より大事や、嘘でも何でもソ連
たいに宣位でアメリカに勝たんならん。
アメリカのはんが何ぼ頭かええかてソ連
はんは宣位敷けや、文芸春秋見て感心し
ましたわ」
「ほう、文藝にソ連がアメリカに宣位で
勝った云うて書いてますか」
「あら、あんたいソ連リヤと思つたが
あんまり本読みまへんや、そんなこつち
や入植祭の法螺吹宣位も出来ずへんぞ、

文芸春秋五月号にアメリカのロイド、ラマ
ンちゅう科学評論家がソ連の宇宙遊泳は
嘘や、クレムリンので、ちあげや云うて
書いてます。あんたまだ読んまへんか」
「それ初耳や、二、三週間前に信田さんの
シネマ館で、ソレン宇宙飛行士レオノフ
中佐が人類初めて宇宙遊泳をしたとい
実字を見て来たんやが、それでもアメリ
カはん嘘や云うのやろうか」
「それや、そのシネマがソ連のクレムリン
が、ちあげの宣位に映画スタジオ内で
トリック撮影をやつて作つたまんや云うて
アメリカの科学評論家ロイド、マラン氏が
また逆宣位しとりますか」
「へえ、そんならあのシネマトリックや云
う證據があるんやろか」
「大ありや、人
間誰れでも隣家に蔵建てたら嫌が逃げた
ほど口惜しいといふのが人情や、アメリ
カはんがアトニックの小っちゃや、総量
二十ポンドをこその小衛星を二個バロ
ンみたいに打ち上げ頃は、ソ連では何ト
ンと云うて、かい奴を打ち上げていたし
、月の裏側の写真撮つて来るし、宇宙遊
泳をやるわ、月面軟着に成功するもんや
から、アメリカはんは、口でこそ褒めて
ても心の裡じや腹がたつておらんわん。
泳のシネマのヒツタをコダック研究所、ロ
チエスタ理工科大学、映画テレビ技術者

金一封 御礼
 故藤井組紅様の香奠返しとして御奇
 付下さいませ。有難うございませう。
 バストス 佛教婦人会
 藤井満雄様

金一封 御礼
 故セルジオさんの香奠返しとして 御奇贈相
 成り有難く御礼申上げます
 バストス 佛教婦人会
 三組 平野 光善様

金一封 御礼
 入植祭演芸会の補助金として拝受い
 たしました。厚く御礼申上げます
 バストス 佛教婦人会
 文化協会祭典委員会 御中

金一封 御礼
 入植祭演芸会補助金 ありがとうございます
 ございました
 南米本願寺 日西学校
 文化協会祭典委員会 御中

金十コントス也 御礼
 右は息子セルジオ君春様の冥福を祈る
 為めイクトリヤ建設資金として御奇付な
 さいました
 イクジヤ建設委員会 太郎 内
 平野 光善様

金一封也 御礼
 故母堂様の香奠返しとして頂きました
 厚く御礼申上げます
 ライオンス クラブ
 西川 純平様

金一封也 御礼
 故セルジオ様の香奠返しとして厚く御礼申上
 げます
 バストス連合佛教婦人会
 平野 光善様

句会案内 来る八月七日夜七時
 佐々木南天子居
 弟題 冬風ねぶか汁 水漬 八句

敬老会に招かれた 老人方におしらせ

去る七月十七日、生長の家会館に於て
 敬老会がございました。
 席上有志の発案で、「老人会」を結成す
 る提案が出ました。老人といえども大
 い発奮して何かと老人同志のつながり
 を持ち、お互いに慰め、助け合っ
 合をもちたいという趣旨です。
 会費は金一コント只一回だけ出して
 たいだけおよろしいのです。
 近いうち、世話人の加藤興太郎さんが
 先日の記念写真をお届けの傍々参上いた
 しますから、趣旨御賛同の上、会費お
 渡して下さいませ。よろしくおねがい申上げま
 す。
 役員選挙もできかねますので過日提案
 通り会長吉浦秀次郎さん、会計世話人
 加藤興太郎さん、推挙に御賛成下さい
 お老のお年寄りには此の旨おつたえお
 き下さい
 老人会発起人
 各御老人様

ELETRO-AUTO-PEÇA

G. E 電気モーター
 販賣

電線 取扱

自動車用

発電機

メルセデス、D K W
 ボックス

いろいろ
 御用命お待ち
 申上げます
 FONE. 2393
 C. POSTAL 558
 Rua Carijos 471

小山田実
 ツパンにお越の節はお立ち
 より下さい

八月五日(金)八時 六日(土)九時半
 東宝 遠い一つの道 島田正吾 沢美枝
 スター 木暮三千代
 八月七日(日)九時半 八日(月)八時
 東宝 駅前女将 森重、フランキ
 特別上映 折の海、佐田の山、他力士
 リーブル
 選手作りのすへてを晴し妻と共歩
 んだ風雪哉哉月

八月九日(火)十日(水)両夜とも八時
 日活 国 竹籍のない男
 三谷英治 岩崎加根子 山本陽子
 西尾三枝子 藤 竜也
 地を通い水にもぐり 敵地にいそむ一匹狼 リーブル

東宝 地球 SOS ビルも人間と吸上る大怪獣
 夏木陽介 藤山陽子
 若林映子 小泉 博
 リーブル
 八月十四日(火)十七日(水)
 日活 月曜日の子力
 加賀まり子 中尾彬 梅野泰靖
 白野道夫
 十八才以上

Arise de Cine-Bastos

トコロ DOGORA

大入満員御礼

御礼

当区入植卅五年祭典に
 當り左記の方々より多
 額の金品の御寄贈を賜
 りました 紙上を通じ
 厚く御礼申し上げます

- 森川悠一様 木皿庄次郎様
- コチア 倉庫様 杉本秀一様
- 小林 平行様 小倉茂一様
- アトパン様 大重 様
- 友谷千丸様 大貫勝義様
- 前田育人様 竹内時夫様
- 信田兵治様 船辺久夫様
- ウニオン二区様 西迫信秀様
- ボンフィン区様 笠井静男様
- 橋本光義様 西 徹 様
- 溝部 優 様 フォト島本様

- 堂前幸太郎様 丸山敦様
- 藤原 亘 様 柴田タカミ様
- 板垣寿勢夫様 アセシンア様
- 佐々木久輔様 ウニオンI区様
- 前山義雄様 フラタケ製絲様
- ハシランニ女子青年様 廻田昭義様
- 入江 均 様 松 浦 茂 様
- 中原一郎様 P.L.バスター部様
- 内馬場七郎様 照井秀夫様
- 奥山忠藏様 古田道助様
- 貝岐保雄様

一九六六年七月二十五日
 フアルツーラ区
 入植三十五年
 祭典委員会 一同